

注3

大学番号：私122

[平成29年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

注1

届出

神奈川歯科大学大学院 歯学研究科 歯学専攻

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 神奈川歯科大学
平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 大学院事務室

職名・氏名 シュサ ニシワキ ユウコ
主査・西脇 優子

電話番号 046-822-8826

（夜間） 046-825-1500

F A X 046-822-9317

e-mail graduate@kdu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

歯学研究科

<歯学専攻>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	15
6. 留意事項等に対する履行状況等	25
7. その他全般的事項	27

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 神奈川歯科大学

(2) 大学名

神奈川歯科大学大学院

(3) 大学の位置

- ・横須賀キャンパス
〒238-8580
神奈川県横須賀市稲岡町82番地
- ・横浜キャンパス
〒221-0835
神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町3-31-6
(〒238-8580 神奈川県横須賀市稲岡町82番地)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を () 書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(カシマ イサム) 鹿島 勇 (平成21年12月)		
学長	(ヒラタ ユキオ) 平田 幸夫 (平成26年4月)	(サクライ タカシ) 櫻井 孝 (平成29年4月)	変更の理由：学長の任期満了のため 変更年月日：平成29年4月1日 (29)
研究科長	(ツキノキ ケイイチ) 槻木 恵一 (平成25年5月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を () 書きで記入してください。
(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)
平成29年度に報告する内容 → (29)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
歯学研究科 歯学専攻(博士課程) 博士(歯学)	歯学関係	4年	18人	72人	基礎となる学部等 歯学部歯学科

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	18人 (若干名) [若干名]	人	人	人	人	人	人	人	0.94倍	
志願者数	18 (6) [1]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
受験者数	18 (6) [1]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
合格者数	18 (6) [1]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
B 入学者数	17 (6) [1]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	0.94									

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含まない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	17 [1] (-)	[] ()	[] ()						
2年次	/		[] ()	[] ()					
3年次			/				[] ()	[] ()	[] ()
4年次	/						[] ()	[] ()	
計							17 [1] (-)	[] ()	[] ()

- (注)
- ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成29年度 入学者	17 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
			平成32年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0 人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
			平成31年度	人	人		
			平成32年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	0 人	平成31年度	人	人		#DIV/0! %
			平成32年度	人	人		
平成32年度 入学者	人	0 人	平成32年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	17 人	0 人					0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学者数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<歯学研究科 歯学専攻（博士課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
基本 科目	研究基盤学	1前	2			5	1			1		
	多分野最新研究学	1後	2			11 9	2 3					教育課程充実のため担当増員(29) 昇格に伴う変更(29)
	学術発表演習	2前	2				1					
	医学英語演習	2後	2			1						
	医学統計演習	2後	2			1						
専 門 入 門 科 目	環境病理学入門	1通		4		1						
	咀嚼機能制御補綴学入門	1通		4		1						
	小児成育歯科学入門	未開講 1通		4		1		2				履修希望者がいなかったため(29)
	社会歯科学入門	未開講 1通		4		1						履修希望者がいなかったため(29)
	歯周病リスク診断学入門	1通		4		1						
	歯髄生物学入門	1通		4		1						
	高齢者の全身疾患と管理入門	1通		4		1						
	臨床麻酔科学入門	未開講 1通		4		1						履修希望者がいなかったため(29)
	障害者歯科学入門	未開講 1通		4		1						履修希望者がいなかったため(29)
	咬合医学科学入門	未開講 1通		4		1						履修希望者がいなかったため(29)
	不正咬合学入門	1通		4		1						
	放射線学入門	未開講 1通		4		1						履修希望者がいなかったため(29)
	歯学教育学入門	未開講 1通		4		1						履修希望者がいなかったため(29) 学長就任のため担当者変更(29)
	内科学入門	未開講 1通		4		1						履修希望者がいなかったため(29)
	神経解剖学入門	未開講 1通		4		1						履修希望者がいなかったため(29)
	口腔感染症学入門	未開講 1通		4		1						履修希望者がいなかったため(29)
	口腔健康科学入門	未開講 1通		4		1	1		2			履修希望者がいなかったため(29)
	災害医療歯科学入門	未開講 1通		4		3 2		2	0 1			履修希望者がいなかったため(29) 昇格に伴う変更(29)
	口腔分子細胞制御学入門	未開講 1通		4		1						履修希望者がいなかったため(29)

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目 実習	歯学教育学基礎実習	2通		4		3 4	3 2					兼0 兼2 学長就任のため担当者変更(29) 退職に伴う担当者変更(29) 教育課程充実のため担当増員(29) 教育課程充実のため専任化(29)
	内科学実習	2通		4		2 4						教育課程充実のため担当増員(29)
	神経解剖学実習	2通		4		1		1				教育課程充実のため担当増員(29)
	口腔感染症学実習	2通		4		1		1	1			教育課程充実のため担当増員(29)
	口腔健康科学実習	2通		4		1	1	2				
	災害法医情報歯科学実習	2通		4		2 4		2				教育課程充実のため担当増員(29)
	災害対応歯科学実習	2通		4		1	1	4				昇格に伴う変更(29)
	災害口腔保健管理学実習	2通		4		1	1					
	口腔分子細胞制御学実習	2通		4		1		2	1			退職に伴う担当者変更(29) 教育課程充実のため担当増員(29)
	う蝕制御・修復学実習	2通		4		1		2	2			
	歯科形態学実習	2通		4		1		1	1			
	顎顔面外科学実習	2通		4		1	1	3	2			昇格に伴う変更(29) 教育課程充実のため担当増員(29)
	咀嚼の脳科学実習	2通		4				1	1			
	唾液腺健康医学解析実習	2通		4				1				
	循環制御歯科学実習	2通		4		1	4	1				昇格に伴う変更(29)
	光歯科医学実習	2通		4				1		1		教育課程充実のため担当増員(29)
	歯科生体材料科学実習	2通		4		1	4			2		昇格に伴う変更(29)
	高度先進睡眠時無呼吸障害学実習	2通		4		1			1	4	3	教育課程充実のため担当増員(29)
	高度先進麻酔科学実習	2通		4		1			2	1		教育課程充実のため担当増員(29)
	高度先進矯正治療診断学実習	2通		4		1			1	4	2	教育課程充実のため担当増員(29)
	高度先進インプラント・歯周病学実習	2通		4		1			1	2	3	退職に伴う担当者変更(29) 講座変更に伴う担当者減(29)
	眼科学実習	2通		4		1				2		
ミニマルインターベンション補綴学実習	2通		4				1	1				
統合専門科目 演習	口腔医療学演習	3通		4		8 7	0 4					昇格に伴う変更(29)
	生体管理学演習	3通		4		1			3 4	4 3		退職に伴う担当者変更(29)
	口腔腫瘍学演習	3通		4		3 2		1	2 3			退職に伴う担当者変更(29)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
統合専門科目	歯学教育学演習	3通		4		3 4	1 2				兼0 兼2	学長就任のため担当者変更(29) 退職に伴う担当者変更(29) 教育課程充実のため専任化(29) 昇格に伴う変更(29)	
	口腔科学演習	3通		4		7 6	3 4						
	災害医療歯科学演習	3通		4		1							
	社会総合医療科学演習	3通		4		1							
	高度先進口腔医学演習	3通		4		4	1						
特論 I	口腔病理診断学特論	3後		4		1	1					学長就任のため担当者変更(29)	
	咀嚼機能制御補綴学特論	3後		4		1							
	口腔機能成育歯科学特論	3後		4		1		3	2				
	社会的決定要因特論	3後		4		1							
	歯周病のリスク管理特論	3後		4		1		1					
	感染制御医学特論	3後		4		1							
	口腔機能管理特論	3後		4		1							
	麻酔薬と心筋保護特論	3後		4		1							
	障害者病態解析特論	3後		4		1							
	高度咬合医学科学特論	3後		4		1							
	咬合医学・咀嚼器官と脳学特論	3後		4		1			1				
	臨床画像診断学特論	3後		4		1							
	教学 I R 特論	3後		4		1							
	内分泌学特論	3後		4		1							
	神経解剖学画像解析特論	3後		4		1							
	口腔感染治療学特論	3後		4		1							
	フッ化物応用科学特論	3後		4		1	1	2					
	歯科法医学特論	3後		4		1							
	歯周組織における骨免疫学特論	3後		4		1							
	ブラーク・う蝕制御学特論	3後		4		1							
	歯周・インプラント周囲組織の形態学特論	3後		4		1							
	顎顔面インプラント再建外科学特論	3後		4			1						
	口腔高次脳科学特論	3後		4			1						
	片頭痛と咬合学特論	3後		4			1						
	循環病態薬物療法特論	3後		4		1	0 4						昇格に伴う変更(29)
	酸化ストレス医学特論	3後		4			1						
	接着歯科学特論	3後		4		1	0 4						昇格に伴う変更(29)
高度先進睡眠時無呼吸障害特論	3後		4		1								
高度先進矯正基礎学特論	3後		4		1								
歯周組織再生療法学特論	3後		4		1								
眼科学における機能評価法特論	3後		4		1								
臨床歯科技工特論	3後		4			1							
特論 II	唾液検査学特論	4通		4		1						昇格に伴う変更(29)	
	先端補綴治療学特論	4通		4		1	1	2 4	5 7				
	臨床小児成育歯科学特論	4通		4		1		3	2				
	歯科保健政策特論	4通		4		1							
	集学的統合歯周治療学特論	4通		4		1							
	歯髄・硬組織再生医学特論	4通		4		1							
	地域医療連携特論	4通		4		1							
	周術期の糖脂質代謝特論	4通		4		1							
	障害者行動管理特論	4通		4		1							

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
選択科目 特論Ⅱ	デジタル補綴咬合医科学特論	4通		4		1						学長就任のため担当者変更(29)	
	咀嚼器官の機能と機能障害学特論	4通		4		1			1				
	画像工学応用科学特論	4通		4		1							
	歯学教育学修評価特論	4通		4		1							
	炎症性サイトカインと全身疾患特論	4通		4		1							
	神経解剖学微細構造観察法特論	4通		4		1							
	口腔感染症学特論	4通		4		1							
	臨床予防歯科学特論	4通		4		1	1	2					
	分子歯周組織再生学特論	4通		4		1							
	審美修復学特論	4通		4		1							
	歯周・インプラント周囲組織の微小循環特論	4通		4		1							
	有病者口腔管理学特論	4通		4				1					
	口腔全身統合科学特論	4通		4				1					
	唾液腺病態科学特論	4通		4				1					
	抗加齢歯科医学特論	4通		4		1	1						昇格に伴う変更(29)
	光線力学療法特論	4通		4				1					
	界面制御科学特論	4通		4		1	1						昇格に伴う変更(29)
	高度先進麻酔科学特論	4通		4		1							
高度先進矯正臨床応用学特論	4通		4		1								
インプラント周囲組織・表面構造学特論	4通		4		1								
眼科学と全身疾患特論	4通		4		1								
ミニマルインターベンション歯科臨床特論	4通		4				1						
研究指導科目 (研究指導)		1~4	-	-	-	27	5				教育課程充実のため担当増員(29)		
						22	7				昇格に伴う変更(29)		

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年度」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
5	138	0	143	5	138	0	143	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \boxed{\text{該当なし}} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校舎敷地と別地 (所用時間：40分)			
	校舎敷地	14,193.6 m ²	4,560.04 m ²	2,999.49 m ²	21,753.13 m ²				
	運動場用地	0 m ²	47,106.68 m ²	0 m ²	47,106.68 m ²				
	小 計	14,193.6 m ²	51,666.72 m ²	2,999.49 m ²	68,859.81 m ²				
	そ の 他	0 m ²	0 m ²	0 m ²	0 m ²				
	合 計	14,193.6 m ²	51,666.72 m ²	2,999.49 m ²	68,859.81 m ²				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	神奈川歯科大学短期大 学部と共用				
	26,317.51 m ² (26,317.51 m ²)	8,862.27 m ² (8,862.27 m ²)	10,037.77 m ² (10,037.77 m ²)	45,217.55 m ² (45,217.55 m ²)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	8 室	6 室	6 室	1 室 (補助職員 0人)	1 室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			平成29年4月 専任教授2名新規採用と 准教授2名を新規任用の ため(29)			
	歯学研究科 歯学専攻		72 68 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	研究科単位での特定不 能なため、大学全体の 数(短期大学部は除 く) 図書・学術雑誌・視 聴覚資料：修学環境向 上のための資料購入に よる増加(29)	
	歯学研究科 歯学専攻	161,000 [67,200] (160,770 [67,155]) -(159,811 -[67,124])	2,179 [1,230] (2,179 [1,230])	5,350 [3,647] (5,444 [3,673]) -(5,350 [3,647])	5,400 (5,391) -(5,352)	37 (37)	0 (0)		
	計	161,000 [67,200] (160,770 [67,155]) -(159,811 -[67,124])	2,179 [1,230] (2,179 [1,230])	5,350 [3,647] (5,444 [3,673]) -(5,350 [3,647])	5400 (5,391) -(5,352)	37 (37)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数						
	1,792m ²	215	168,389						
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要							
	7,418.08 m ²								
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費については研究 科単位での特定不能な ため、大学全体の数。 図書費には、電子ジャー ナル・データベースの整備費 (運用コストを含む)を 含む。 図書購入費 開設前年度：データベ ースが含まれていなか ったため修正(29) 開設・完成年度：デー タベースを含めたこと と雑誌の購読見直しに よる増加(29)
		教員1人当り研究費等	90千円	90千円	図書購入費	63,119千円 56,003千円	61,142千円 56,003千円	61,142千円 56,003千円	
		共同研究費等	45,000千円 30,000千円	45,000千円 30,000千円	設備購入費	20,000千円	10,000千円 5,000千円	10,000千円 5,000千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,100千円	700千円	700千円	700千円	— 千円	— 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		医療収入、経常費補助金、寄付金等					平成29年度予算で研究 費15,000千円が新たに 承認され、従来額とな った。研究用の備品購入 費は10,000千円で承認 された。ブランディン グ研究推進のため完成 年度まで同額の予算申 請を行う予定である。 (29)	

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	神奈川県歯科大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
《AC対象学部等》 歯学研究科									
歯科基礎系専攻	4	-	-	-	博士 (歯学) 博士 (臨床歯学) 博士 (学術)	-	昭和50年度	神奈川県横須賀市稲岡町82番地	平成29年より学生募集停止
歯科臨床系専攻	4	-	-	-	博士 (歯学) 博士 (臨床歯学) 博士 (学術)	-	昭和50年度	同上	平成29年より学生募集停止
歯学専攻 歯学部	4	18	-	72	博士 (歯学)	0.94	平成29年度	同上	
歯学科	6	120	-	720	学士 (歯学)	0.79	昭和39年度	同上	
大学の名称	神奈川県歯科大学 短期大学部								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
歯科衛生学科	3	120	-	360	短期大学士 (歯科衛生学)	0.83	昭和27年度	神奈川県横須賀市稲岡町82番地	
看護学科	3	80	-	240	短期大学士 (看護学)	1.03	平成19年度	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
31	准教授	山本 信治	選択	歯学教育学基礎実習	①	自己都合により退職（29）	
			選択	歯学教育学演習※	①		
43	講師	川股 亮太	選択	放射線学実習	①	自己都合により退職（29）	
			選択	口腔腫瘍学演習※	①		
47	講師	藤原 茂樹	選択	周術期の循環・呼吸管理実習	①	自己都合により退職（29）	
			選択	生体管理学演習※	①		
53	講師	前畑 洋次郎	選択	口腔分子細胞制御学実習	①	自己都合により退職（29）	
64	講師	上野 大輔	選択	高度先進インプラント・歯周病学実習	①	自己都合により退職（29）	
合計（A）					後任補充状況の集計（B）		
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
5	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	8	科目	選択	8	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	8	科目	計	8	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
38	講師	工藤 値英子	選択	歯周医学実習	①	自己都合により退職（29）	
合計（C）					後任補充状況の集計（D）		
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	1	科目	計	1	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(A) + (C)		後任補充状況の集計(B) + (D)							
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
6 人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	9	科目	選択	9	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	9	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注) ・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員の辞任、人事異動による教員の変更については、補充や増員により対応を行い設置計画上の教育課程の実施に問題点はない。なお、科目担当責任者の変更は無く、教員の配置はシラバスで確認でき、学生へ周知している。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (29年4月)	「該当なし」		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<歯学研究科 歯学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況
 添付資料のとおり(神奈川歯科大学大学院FD委員会規程)

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)
 平成28年度開催状況
 ・第1回FD委員会 平成28年5月16日(月) 学部FD委員会合同開催
 ・第2回FD委員会 平成29年2月7日(火) 学部FD委員会合同開催
 ・第3回FD委員会 平成29年3月22日(水) メール審議

c 委員会の審議事項等

(1) 建学の精神、教育理念と本学教育の現状確認に関する事項及びその評価
 (2) 教育・研究活動の向上改善に関する事項及びその評価
 (3) 教育・研究に関する将来構想に関する事項及びその評価
 (4) 事務活動の向上改善に関する事項及びその評価
 (5) 教育活動を円滑に行うための教育組織、事務組織に関する事項及びその評価
 (6) その他、大学認証評価に関する事項の対応とその評価
 (7) 当委員会が必要と認める事項及びその評価

② 実施状況

a 実施内容
 全学FD研修会、大学院組織別FD研修会、新任教職員研修会

b 実施方法
 講演およびワークショップ

c 開催状況(教員の参加状況含む)
 ・平成28年5月31日(火) コミュニケーションスキルの幅を広げるコーチング 28名
 ・平成28年7月31日(日) 大学院開設40周年シンポジウム「研究能力を備えた高度な臨床歯科医養成のための大学院改革」 51名
 ・平成28年8月19日(金) 臨床疫学研究入門 -研究が始まるまで- 56名
 ・平成28年9月5日(月) 教職協働について 43名
 ・平成28年9月10日(土)-11日(日) カリキュラムプランニングFD-WS 36名
 ・平成28年9月16日(金) 科研費の現状と課題 66名
 ・平成28年10月28日(金) 研究倫理と倫理指針 -個人情報保護法改正・臨床研究法施行をふまえて- 101名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 ・次年度授業計画(シラバス)の組織的確認・修正を継続実施している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期
 ・平成29年2月3日(金)～平成29年2月17日(金)に実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等
 ・学生には公開していないが教員には教授会にて配付している。今年度より学生に公開する予定である。

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>歯科医療を取り巻く現状が複雑化し、新たな課題への取り組みが必要となっており、自立した臨床研究能力を備える人材が強く求められている。</p> <p>歯学専攻では、基礎と臨床の壁を超えた横断融合型の教育を展開するために、歯科基礎系専攻と歯科臨床系専攻を改組し、新たに1専攻による大学院歯学研究科を設置した。</p> <p>本専攻では、臨床的な課題を解決する地域歯科医療における指導的な人材とトランスレーショナルリサーチの実践できる研究者の育成を行うことを目的としている。</p> <p>本年度は、開設初年度であり、目的達成の評価を行っていないが、各種委員会が事業計画を定め設置計画の履行に向けた取り組みを行っており、今後は、PDCAサイクルにより、問題点を整理し取り組みを評価していく予定である。</p>
<p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <p>・ 神奈川歯科大学 自己点検・評価報告書（2017年度版） 平成27年5月発行・公表</p> <p>b 公表方法</p> <p>・ （平成27年5月）大学ホームページ上に公開した</p>
<p>③ 認証評価を受ける計画</p> <p>・ 平成29年度に大学基準協会の評価を受けるべく、申請済み</p>

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書</p> <p>a ホームページに公表の有無 (有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無)</p> <p>b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成 29 年 6 月 1 日)</p>
--

神奈川歯科大学大学院FD委員会規程

平成25年4月1日施行

(目的)

第1条 この規程は、学校法人神奈川歯科大学大学院（以下「本学」という。）の教育研究水準の維持向上を図るため、教員の教育・研究・マネジメントの向上及び事務職員の事務活動の向上に関する事項を点検・評価し、もって本学の社会的使命を果たす方策を審議することを目的とする。

(構成)

第2条 神奈川歯科大学大学院FD委員会（以下「委員会」という。）は、歯学研究科長の委嘱する大学院指導教員をもって構成する。

- 2 委員は、歯学研究科長が大学院指導教員の中から数名以上を指名する。
- 3 委員長が必要と認めた場合、委員以外の教職員の出席を求めることができる。

(任期)

第3条 委員の任期は1年とし、その任期は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

ただし、再任を妨げない。

- 2 補欠による委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(招集)

第4条 委員会は、必要に応じ委員長がこれを招集する。

- 2 学長又は委員の過半数の要請があるときには、委員長は、委員会を開催しなければならない。

(審議)

第5条 委員会は、次の事項を取り扱う。

- (1) 建学の精神、教育理念と本学教育の現状確認に関する事項及びその評価
- (2) 教育・研究活動の向上改善に関する事項及びその評価
- (3) 教育・研究に関する将来構想に関する事項及びその評価
- (4) 事務活動の向上改善に関する事項及びその評価
- (5) 教育活動を円滑に行うための教育組織、事務組織に関する事項及びその評価
- (6) その他、大学認証評価に関する事項の対応とその評価
- (7) 当委員会が必要と認める事項及びその評価

(議事の決定)

第6条 議決を要する事項は、議長を除く出席委員の過半数の賛成をもって決する。賛否同

数のときは議長の決するところとする。

(改廃)

第7条 この規程の改廃は、大学院運営委員会において行う。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

この規程は、平成27年4月1日から施行する。